

【施設効果事例】 栃木県日光市芹沢(田茂沢第1、第2砂防堰堤)

- ◆災害発生日：平成27年9月10日
- ◆降雨状況：連続雨量 603mm (9月6日16時～9月10日22時)
最大時間雨量 57mm (9月10日2時～3時) ※中三依雨量観測所
にっこうし せりさわ
- ◆発生箇所：栃木県日光市芹沢
- ◆崩壊状況：土石流捕捉量 約15,500m³
- ◆状況：9月10日の大雨により、日光市芹沢地区では土石流が多発して甚大な被害が発生したが、地区内の田茂沢では砂防堰堤が整備されており、土石流に伴う土砂や流木を完全に捕捉。下流集落（人家12戸）への被害を未然に防止。



田茂沢第1砂防堰堤

土石流発生前 (H27.8.11)



土石流発生直後 (H27.9.11)



田茂沢第2砂防堰堤

土石流発生前 (H26.11.28)



土石流発生直後 (H27.9.11)



【施設効果事例】 福井県福井市月見3丁目山奥第5地区

- ◆災害発生日：平成27年1月11日
- ◆降雨状況：連続雨量 140mm (1月3日14時～1月11日14時)
最大時間雨量 4mm (1月10日10時～11時) ※安保雨量観測所
ふくいし つきみ3ちょうめ やまおくだい5ちく
- ◆発生箇所：福井県福井市月見3丁目山奥第5地区
- ◆崩壊状況：倒木
- ◆状況：急傾斜地崩壊危険区域内で倒木が発生したが、待受擁壁により倒木等を捕捉。被害を未然に防止。



全景



崩壊土砂補足状況



【施設効果事例】 愛媛県宇和島市蛤

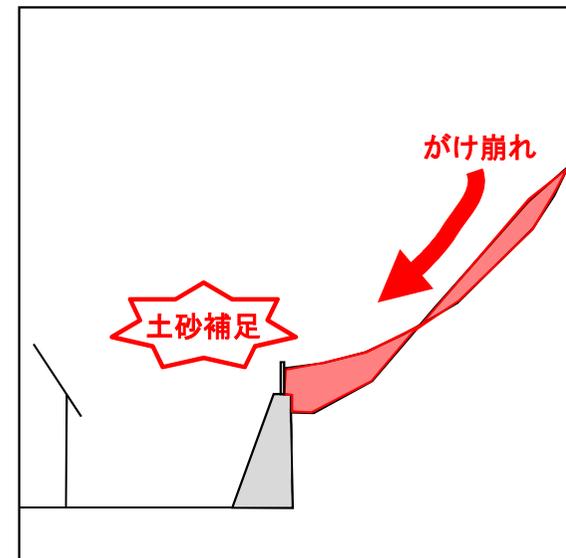
- ◆災害発生日：平成27年9月1日
- ◆降雨状況：連続雨量 104mm (8月31日19時～9月1日13時)
最大時間雨量 39mm (9月1日11時～12時) ※宇和島特別地域気象観測所
うわじまし はまぐり
- ◆発生箇所：愛媛県宇和島市蛤
- ◆状況：8月31日～9月1日の豪雨によりがけ崩れが発生したが、平成3年度に急傾斜地崩壊防止施設（擁壁工、落石防護柵工）が整備されており、土砂等を捕捉。被害を未然に防止。



崩壊土砂補足状況



概略図



【施設効果事例】 静岡県浜松市西区白洲町

- ◆災害発生日：平成27年9月8日
- ◆降雨状況：連続雨量 184mm (9月6日13時～9月8日14時)
最大時間雨量 25mm (9月8日3時～4時) ※新居観測局

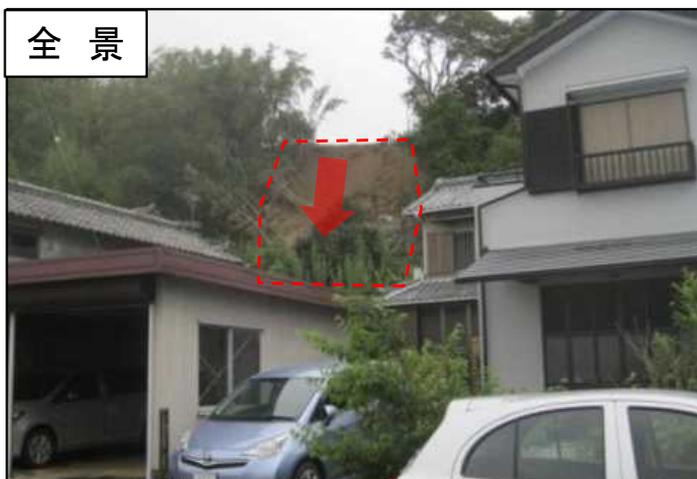
しままつしにしくしらすちよう しらすきた

- ◆発生箇所：静岡県浜松市西区白洲町 白洲北
- ◆状況：台風18号に伴う大雨によりがけ崩れが発生したが、急傾斜地崩壊防止施設が整備されており崩壊した土砂を捕捉。被害を未然に防止。

設が整備されており崩壊した土砂を捕捉。被害を未然に防止。



土砂や倒木を食い止めた擁壁
=2015年9月8日、浜松市西区大人見町(県提供)



全景



崩壊土砂補足状況



航空写真

位置図

崩落箇所

昨年の県内土砂災害 がけ崩れ69件発生

県は7日、2015年中の県内の土砂災害の発生状況をまとめた。台風や豪雨が原因の土砂災害が計69件発生し、全てがけ崩れだった。人的被害はなく、住宅計3棟が一部損壊した。

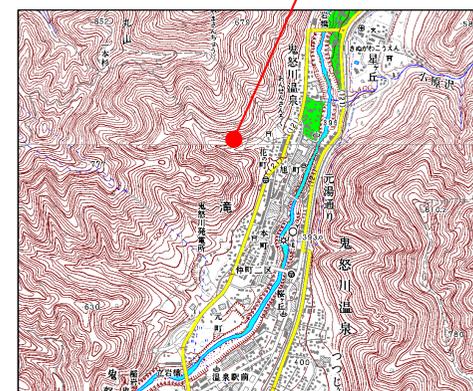
がけ崩れは、9月7～9日の台風18号で計36件、7月3～11日の豪雨で計14件が発生した。浜松市など県西部での発生が目立った。県砂防課によると、このうち13カ所にはコンクリート擁壁などの土砂災害防止施設が整備済みで、崩れた土砂や倒木を食い止めて住宅への被害を防いだという。

土石流、地すべりを含めた土砂災害の発生件数は前年より6件少なかったが、同課は「豪雨が頻繁にあり、例年の50件程度より多かった。引き続き土砂災害防止施設の整備に努めたい」としている。

H28.1.8
静岡新聞

【施設効果事例】 栃木県日光市鬼怒川温泉 橋の沢

災害発生日：平成27年9月10日（木）
 降雨状況：連続雨量647mm（9月9日0時～9月11日12時）
 最大時間雨量59mm（9月10日3時～4時）※藤原観測局
 発生箇所：栃木県日光市鬼怒川温泉 橋の沢
 崩壊状況：土砂流捕捉量 約4,000m³
 状況：平成27年9月関東・東北豪雨により土石流が発生したが、砂防堰堤が整備されており、土砂を捕捉。堰堤直下の国道及び鬼怒川温泉街への被害を未然に防止。



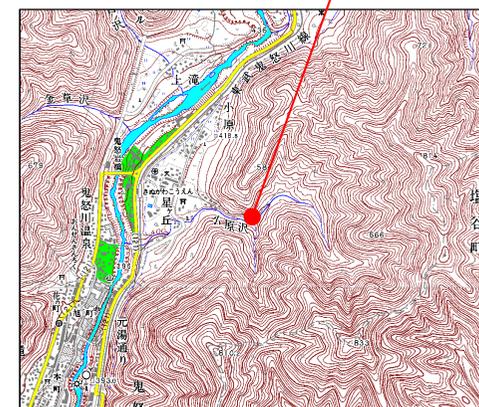
【施設効果事例】 栃木県日光市鬼怒川温泉 小原沢

災害発生日：平成27年9月10日（木）
 降雨状況：連続雨量647mm（9月9日0時～9月11日12時）
 最大時間雨量59mm（9月10日3時～4時）※藤原観測局
 発生箇所：栃木県日光市鬼怒川温泉 小原沢
 崩壊状況：土砂流捕捉量 約2,000m³
 状況：平成27年9月関東・東北豪雨により土石流が発生したが、
 砂防堰堤が整備されており、土砂及び流木を捕捉。
 堰堤直下の国道及び鬼怒川温泉街への被害を未然に防止。



土石流発生前

平成19年5月撮影



土石流発生直後

平成27年10月撮影

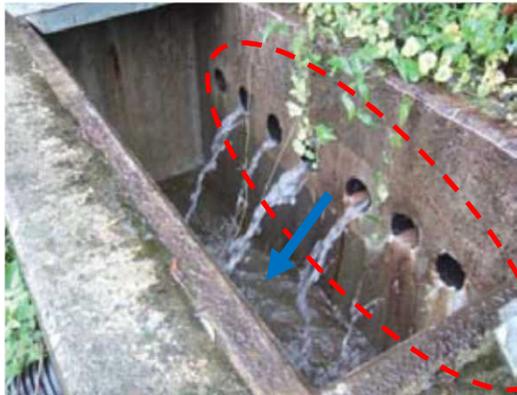


流木捕捉状況

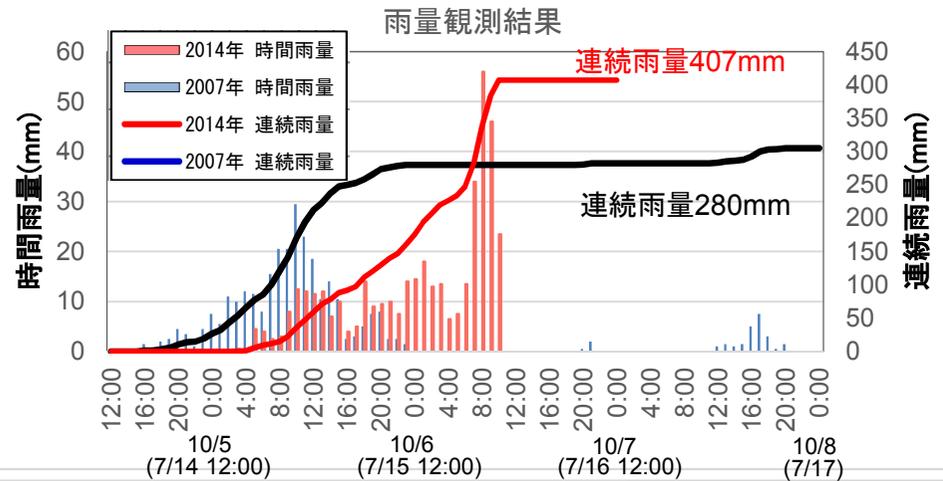
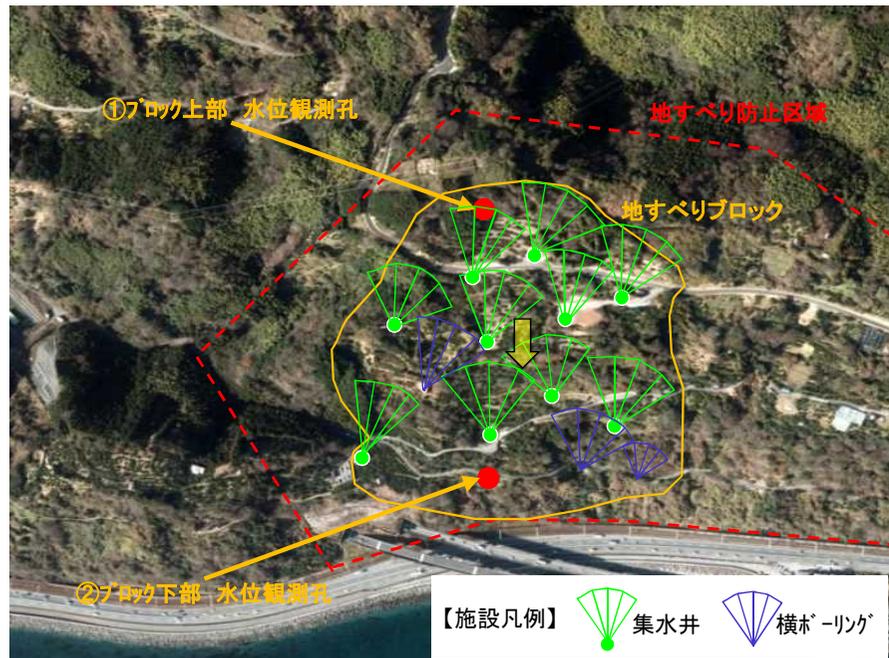
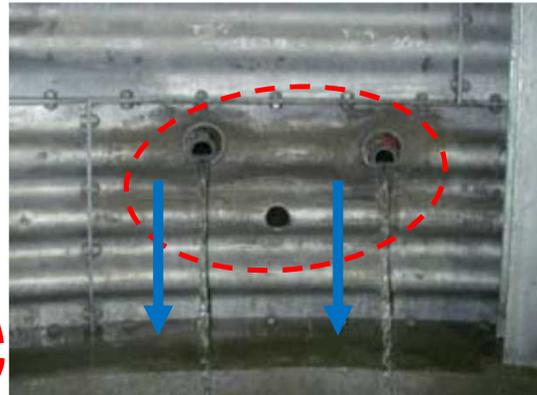
【施設効果事例】静岡県静岡市清水区由比

同程度以上の降雨があっても、横ボーリング・集水井を施工後は、地すべりブロック上部では降雨後の排水効果（水位低下）が確認され、斜面下部では地下水の上昇が抑えられた。

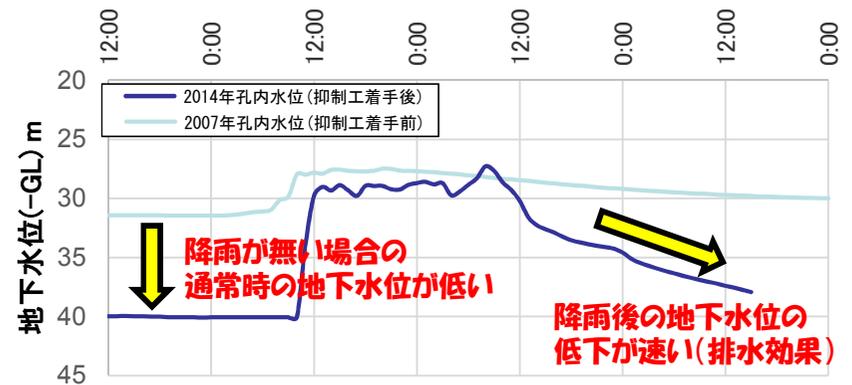
横ボーリングの排水状況



集水井の集水状況



①ブロック 上部 水位観測孔の水位変動 孔内水位計A1-5 ※ () 内数値は2007年の日付をしめす。



②ブロック 下部 水位観測孔の水位変動 孔内水位計A1-1

